

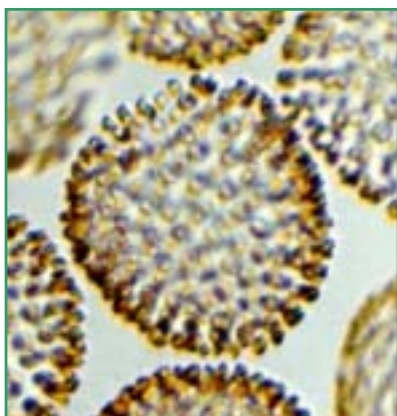
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第34報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年11月18日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

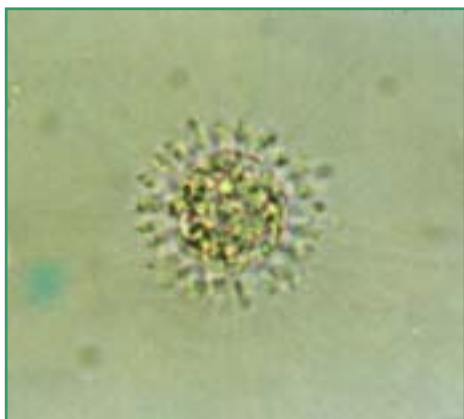
植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Acanthocystis chaetophora
(アカントキスチス)
太陽虫類

体は球形で多くの偽足を放射状に出している。小型の太陽虫で軸足が非常に長いのが特徴である。

コメント
植物プランクトンはウログレナが出現した。琵琶湖ではウログレナは5月～6月に最も多く見られるが、秋から冬期にも見られる。動物プランクトンは、太陽虫に属するアカントキスチスが出現した。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	940

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	460

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成14年11月18日

第34報

(2) 植物プランクトン

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i>	18		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1600		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas akrokomos</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	110		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	120		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	30		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	240		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	10		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum</i> sp.	1		
(藍) 藍藻綱	18	0.7	9.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1660	63.8	37.6
(珪) 珪藻綱	510	19.6	13.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	340	13.1	25.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	75	2.9	13.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	2603	総体積	1.17E+06
種 類 数	18	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし * 印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。